



自治会だより

2021
新春号

～世代超え 気持ち繋がる
ふるさとへ～



ニュータウン鳥瞰 (元旦 白岡高校付近より)

新春にゆめを

副会長 岩崎 明正



新春を迎え、皆様ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年のお話と言えば、年頭から年末まで新型コロナウイルス感染症の一角でした。中国から世界中に広がり、今もって終息どころか拡大する一方ですが、産業革命以来、医学の分野でも急速に進歩を遂げた人類ですから、その英知により早期に退治したいものです。

一方、私たちニュータウンの話題と言えば、新白岡駅近くに予定された葬儀場建設が行政により承認されたこととです。一昨年の7月以来、私たちは法を盾にする事業者と行政を相手に戦ってきましたが、昨年11月13日に前市長により建設承認がおりました。皆様から署名をいただき提出した事務監査請求は却下され、3度にも及ぶ請願書の議会承認も行政に軽視され、住民の意見が行政に対して無力であることを痛感させられました。

ところで、この自治会だよりが皆様

に届くころ、J・COMによるCATV敷設工事が開始されていると思います。30年間以上も住民への情報発信源であったニュータウンのCATVも、設備の老朽化とネット社会の多様化により民間にバトンタッチされます。計画では4月下旬から順次、新たなTV放送に切替わります。また、契約内容にも異なりますが、地上波だけでなく多くの番組を視聴することが可能になります。

年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからずと言いますが、私たち自身は程度の差はあれ毎年変わっています。ニュータウンも同じです。住民に支えられるもの、環境に適合するものは残り、不釣り合いなものはいずれ消滅していくのが世の習いです。ニュータウン自治会では、良いものは残し、皆様とともに住み良い街づくりを進めてまいりますので、今後とも御支援、御協力を宜しくお願い申し上げます。

＊ リンゴ販売 実施結果 ＊

二〇二〇年度リンゴ販売について

事業部長 伊藤 憲造

「リンゴ販売」予定日に「雨」予想時、関係者はヤキモキし中止すら脳裡をよぎったが、困った時の神頼み、当日は小春日和の長閑な一日となり、天に感謝した次第です。

そんな穏やかな師走の13日、さくら公園にて恒例のリンゴ販売会が開催されました。信州でも名代の中野産のリンゴが未曾有の大人気で、販売開始30分前には長蛇の列となりました。三密回避もありまして時間を早めての販売開始です。二千個ほど用意しましたリンゴも「あっ」という間に底を突き30分で完売です。誠に有難うございました。リンゴの味は如何だったでしょう。入場時には検温・記帳などコロナ対策をして頂き協力に

感謝します。また、折角ご来場頂きながら売り切れもございました、全員に行き渡りませんでしたことお詫び申し上げます。因みに約200名の参加をいただきました。



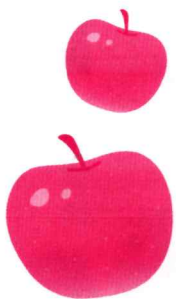
リンゴ販売の列

昨年度のふるさと祭りは台風で中止に、今年度は事業部一同張り切っていた矢先にコロナ騒動となり早期に全てのイベントの中止を決定しました。



野菜や花苗の販売も

しかし長期にわたるコロナ禍での索漠とした生活にも少々厭気が見え隠れ、世間では、ウイズコロナとか言われる昨今、関係皆様の後押しもありまして令和クラブとの共催でリンゴ販売が企画され今回の開催に至ったものです。共催の令和クラブ、そしてリンゴ販売に携わった関係皆様、ご協力有難うございました。来年度はどんな環境下になるのでしょうか。普通の生活が出来る世の中を望む今日この頃です。



人気の野菜マルシェ



J:COMがPRに来ていました

＊ 特別企画 サンタが街にやってきた！ ＊

師走、コロナ禍のひとつとき、

さくら公園とサウスプラザは、多くの皆さんで賑わいました。

自治会事業部による恒例のリンゴ販売は忍び寄る新型コロナウイルス不安により開催すら危ぶまれ、憩いの場を求めの方々にたまり場を提供する一日限定の「令和カフェ」も、開催に苦慮しました。オカリナやハーモニカを愛する皆さんは練習成果を発表する場を失い、難儀をされていました。

主婦の作品や打ち立て蕎麦、「花と緑の会」は花苗の販売、「野菜マルシェ」は高岩、上野田、小久喜や遠く蓮田の皆さんが自慢の商品持参で参加されました。

リンゴを購入できない方も続出、スタッフは嬉しい悲鳴

自治会伝統リンゴ販売
一日限定令和クラブ
初のジョイント

新白岡令和クラブ 浅井 嘉一

でした。

開催には綿密な対策を練り、マスクは勿論、フェースシールド着用、消毒から連絡先記帳等々、コロナ禍の開催は、可能な工夫と知恵を凝らし、広域コラボレーションの初実践となりました。

ご来場ご出演、商品提供と多くの皆様、会場周辺ご家庭のご理解ご協力に感謝いたします。

新しい年の始め、コロナを克服して、仲良く、楽しく愉快に暮らせる、潤いの街をつくりましょう。



特別企画 **サンタが街にやってきた！**

12月13日(日曜日) 9:30~12:00

さくら公園&サウスプラザ(3丁目集会所)

※マスク着用：検温/記帳・消毒&三密注意、換気等にご協力ください。

※スタッフ：フェースシールド&マスク着用

開店 9:30 白岡ニュータウン自治会&新白岡令和クラブ共催

会場：さくら公園 商品売り切れ次第で閉店します

りんご販売 うえはら林檎園(長野)

花の苗販売 花と緑の会

：令和クラブメンバー&有志・農家のご協力

・野菜マルシェ ・ハンドメイド作品 ・打ち立て蕎麦など

※荒天及び新型コロナウイルス感染状況で、予告なしに中止&変更することがあります。

会場：サウスプラザ 曲目は、変更することがあります

芸術鑑賞プログラム

10:00 **オカリナアマーレ**の皆さん 楽

- ① キラキラ星
- ② パフ
- ③ エーデルワイス
- ④ 旅愁
- ⑤ ふるさと
- ⑥ 冬景色
- ⑦ きよしこの夜

10:30 **ハーモニカクラブ**の皆さん 楽

- ① もろびとごぞりて
- ② クリスマスメドレー
- ③ 憧れのハワイ航路
- ④ 鐘の鳴る丘
- ⑤ 星影のワルツ
- ⑥ 上を向いて歩こう
- ⑦ ふるさと

一日限定
令和カフェ 次回予定もお楽しみに！
令和3年2月14日 於：ノースプラザ

ご来場 ありがとうございました。

当日のプログラム



サンタがやってきた！



オカリナ演奏の初舞台



特別寄稿 第八回

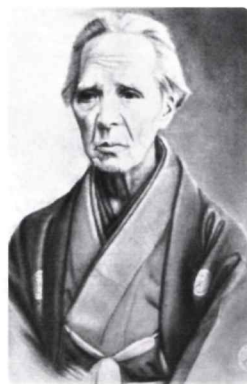
幕末から明治へ教育一筋

白岡人物伝

大野雅山 (前半)

白岡市文化財保護審議会委員

板垣 時夫



大野雅山

白岡市は今も昔も教育が熱心な地域です。これを物語るものとして、江戸時代の寺子屋の充実があげられます。江戸時代学びの先生は師匠として尊ばれ、各地に子弟が恩師のために建立した報徳碑や筆子塔が見られます。これらの内、筆子塔は江戸時代の数が近隣で群を抜いているのです。今回から篠津の寺子屋で活躍した大野雅山を2回に分けて紹介します。

白岡には幕末から明治へ、貴重な寺子屋の記録・足跡を残した偉大な先生がいました。

その名は大野富右衛門、通称を大野雅山といいます。

雅山は文政8年(1825)大野政右衛門の三男として、現在の蓮田市黒浜で生まれました。幼い頃から真面目でしっかりとした考えを持ち、我慢強い努力家でした。何よりも絵や本が好きで、黒浜の寺子屋で読み書きの基本を学ぶと、その後川島村(蓮田市)の生沢金齋先生について「四書五経」など高度な漢籍を学びました。

また、昼は馬の世話をし、田を耕したり、夜は縄を編んだりして両親を助けていましたが、どんなに疲れても勉強を続けていました。その後も農業を手伝いながら、岩槻や川越の本屋さんに通い高価な本を書き写したりして勉強を

続け、金齋先生の塾で教えるようにもなりました。

嘉永5年(1852)28歳の時、村人達に頼まれて黒浜に塾を開きました。ちょうどその頃、恩師の金齋先生が個人的な理由から突然篠津の塾を閉めてしまいました。困ったのは塾生と保護者です。そこで、代表となった遠藤氏が、「篠津塾を引き継いでくれ」と頼みに行きました。

しかし、金齋の弟子であった雅山は「生沢先生が来られなくなったからといって、無断でその後を継ぐ訳にはいきません。それに私には開いたばかりの黒浜塾があります。ようやく親しくなった塾生と別れることは出来ません」と辞退しました。

それでも、遠藤氏が熱心に勧めるのと、金齋先生との間をうまく取りなしてくれたので、とうとう篠津の念光坊(阿

弥陀堂)の塾を引き継ぐことになりました。これが大野塾の始まりです。場所は現在桜の名所である隼人堀川の高台橋付近です。

黒浜塾の父兄からは「続けて欲しい」と懇願されたにもかかわらず篠津に来てしまったので、教えた分の月謝も貰うわけにいきません。おかげで大変な貧乏生活をするようになりました。

そのうち、雅山は教え方がうまいと評判になり、何と鴻巣・桶川・加須のような遠い地区の子も含め、近在38か村から塾生が集まり、延べ1000人を数えたといえます。

寺子屋の入学を「登山」と呼び、「いろは」の読み書きから「往来物」という生活に必要なことを教えました。勉強が進むと、「論語」や「孟子」など立派な人間になるための学問も教えました。

シベリア鉄道膝栗毛

九二九八キロ

列車の旅(5)

植木 育雄

ウラジオストクより列車の旅に出発した筆者は、バイカル湖を過ぎ、クラスノヤルスク、オムスクを経て、いよいよロシアの首都モスクワに到着します。広大なシベリアの大地を駆け抜ける、鉄道の旅の最終回です。



にわか雨の雨上がりの樹林帯に夕陽が射し、雨ダレが煌めき美しい。食堂車も7列車から99列車へと担当が変わったので行ってみる。

ボルシチ、チキン、パン、ビールで1,000ルーブル、ボルシチの注文を忘れていたり、パンが少なすぎたり問題多い食堂車だ。円なら2,140円、会計時に明朝の朝食予約のセールスを応諾。市場経済化の波が予約受付というビジネスに及んだのか？

07列車の安キャバレー、然とした食堂車といい、ソ連時代を知らないだけに早計な判断は出来かねる。それとも二者の在り様は体制の及ばぬ庶民レベルのシベリア鉄道の生き方なのかもしれない。

列車の下を潜らないように！というステッカーやポスターを見かける。隣りのホームや改札口に行くのにその間に列車が停まり邪魔する場合があるのだろう。焦って行くこととして、潜ってる間に列車が動き出し、足の1本ならず、身体ごと切断されることもあるのだろう。我が国と違い列車は長く、跨線橋も大きな駅以外ない。ホームの駅員さんもない。駅で3本足の野良犬を見かけた。

5月21日(火)エカテリンブルグ5時着で5時32分発。



エカテリンブルグ駅

この間32分の停車時間中に、隣のホームから5時20分ごろ第91列車モスクワ行きが先発。続いてその空いたホームに6時14発となる第109列車モスクワ行きが到着。発車時刻・列車番号と行き先は駅の電光掲示板で分かるが何処発なのかキリル文字なので解らない。列車の愛称名もなく、いずれにしてもこの時間帯モスクワ行きが集中して発車していく。

ここからウラル山脈越えが始まる。アジアとヨーロッパを分つ山脈である。山脈といえどもなだらかな丘陵・起伏が縦に帯の様に連続する地帯。縦の丘陵越えの間には都市も存在すると習った。線路沿いにはアジア・ヨーロッパ境界を表すオベリスクが建つと言

う。
そのオベリスクは1,778キロ地点とのこと、目を凝らしてキロ程票を追う。

* シベリア鉄道膝栗毛 (5) 最終回 *

「あったー!」。鉄路でアジアからヨーロッパへきた。大の男が感激している。シベリア鉄道乗車の金字塔なのだ。これを見なくて何を見る。デジカメ画像は不鮮明。



アジア・ヨーロッパ境界を表すオベリスク

いつの間にか小雨が降っていたものが雪に変わる。アジアで見る雪も最後かと、その雪も山脈過ぎて下ってくれば晴れて好天。キロポストも残り1,505キロ、あと24時間後にはモスクワ着。

昨夜予約のモーニングをいただき食堂車へ。卵3個の

目玉焼き、パン、コーヒーのセットで410ルーブル。

高速道路が現れ、線路の下を潜って伸びていった。都会の道路と、線路と交差する主要道路と思しき道は舗装されているが、生活道路は未舗装が目立つ。場所によってはぬかるみ道だ。

バレイズイノ15時7分発。牽引する機関車が変わった。



子供連れの乗客

17時40分にはキロ程票が1,000キロとなった。時刻表上17時43分にキローフ(残り917キロ)発車。遂に残り1,000キロを割る。

ここキローフはシベリア鉄道の総延長距離カウント上ポ

イント地点だ。ここからモスクワまで40キロ短い短絡線と旧来の経路を分ける。ロシア号はその短絡線を走るといふ。

我が遜色急行の第99列車は旧来のヤロスラブリ経由で進む。イルクーツク以来中国人も韓国人も見かけない。今朝のエカテリンブルグで見かけたバックパッカーは日本人ばかりだった。

モスクワ到着

5月22日(水)コストロマバヤ4時20分にシベリア鉄道の旅、最後の起床。天気は雨。



コストロマバヤ駅構内

11時43分着のモスクワまで残り367キロ(東京・名古屋間に相当)、あと7時間。

変なものでクラスノヤルスク発車後モスクワに近づくにつれ乗客は減っている。我が個室もノボシビルスクから弟と2人の貸切状態。老人1人だけの個室もある。7、8人の若い女性グループもいなくなった。

最後の停車駅ヤロスラブリ、6時43分到着。雨は上がり、駅前にはトロリーバスが走り、駅前広場に露店の花屋が見える。早朝なのに客もついでる。パトカーに止められた運転手がいる。

6時48分発車、時刻表通り。後はノンストップでモスクワだと、思ったところで駅でもないのにストップ。暫くすると優等列車に追い抜かれた。最終275キロに4時間半要するのはこういう事かと納得する。

＊ シベリア鉄道膝栗毛 (5) 最終回 ＊

モスクワの近郊列車区間なのか11両編成の通勤電車が頻繁に通る。その影響で並行ダイヤのトロトロ運転が続くのである。

しかし今日は暑い。陽が射してきた。この旅最終日で最高の暑さだ。26〜27度はある。

モスクワに近づいて、沿線に工場はあまり見かけない印象だったが、都市は膨張し、新駅が建設中であるのも見た。駅前にはニュータウンが開け、多くの住宅アパートが建設中だった。だが、森林も続き、シベリアの余韻風景が残る。まだシベリアが勝ちなのだ。

シベリア鉄道、ウラジオストクから一路ただ東へモスクワを目指してきたが、このヤロスラブリはモスクワの1時方向250キロにある。モスクワへは南下するのだ。

7泊8日 長らくのご乗車ありがとうございました。

ヤロスラブリ駅
シベリア鉄道 起点



赤の広場
グム百貨店



モスクワ市電
ヴィチャズ



聖ワシリイ大聖堂



編集後記

新型コロナウイルスの流行が始まり、感染予防対策が叫ばれ、いつの間にか季節はほぼ一巡りとなりました。

コロナ禍で一変した日常生活。マスクが顔の一部となり、おしゃべりに変身したマスク。

大好きな、大事な人達と時間を忘れ過ごした日常。今は、子供達のくっつくのない笑い声と笑顔が救い。

緊急事態宣言が発令されたいま、一刻も早く収束することを願うばかりです。

広報部 大橋

